



23区初

練馬障害福祉人材育成・研修センター事業を開始 ～7月18日に開所式・講演会を開催しました～

練馬区は、18日、23区初の障害福祉に特化した「練馬障害福祉人材育成・研修センター」の開所式および開所記念講演会を行った。

当センターは、「障害特性を理解したうえで、一人一人に合わせた適切な支援をしてほしい」という障害当事者の声を受け、区が長期計画に基づき準備を進め、社会福祉法人練馬区社会福祉協議会（会長：上野定雄）にセンター事業を委託することとなった。開所式では室地健康福祉事業本部長より「23区初の障害福祉サービスに特化した研修センターであり、各事業所には、積極的に研修センターを活用いただき、障害福祉サービスの向上を図っていただきたい」との挨拶があった。

引き続き、「障害児・者支援の今後を考える」をテーマに記念講演と区内の障害福祉サービスの実践家をパネリストとしたパネルディスカッションを開催し、活発な議論が行われた。パネルディスカッションでは、センターに期待することとして、パネリストや参加者から「支援する側と支援される側は、一方通行ではなく、利用者から教えられていることが多い」「知識や技術だけではなく、支援者にとって必要な価値を学ぶこと、制度の背景を知ることが必要」「支援者にとって、相談できること、語り合えることが重要になる。その意味で、センターの果たすべき役割は大きい」といった声が寄せられた。150名ほどの参加者があり、センターへの期待の高さが感じられた。

<内容> 記念講演：「障害児・者支援の今後を考える ～人材育成の視点から～」

講師：高山 直樹氏（東洋大学社会学部社会福祉学科 教授）

パネルディスカッション：「練馬障害福祉人材育成・研修センターに期待すること」



開所式の様子1



記念講演会の様子

【事業目的】

障害福祉サービスに対するニーズの増大・多様化および高度化に対応するため、事業所における高い専門性を持つ人材育成・確保の支援を行い、障害福祉サービスの質の向上を図ることを目的としている。センターの運営を通じ、利用者一人一人のニーズに応じた質の高いサービスを提供する障害福祉サービス従事者の確保および育成を図る。

【事業内容】

（1）学習支援事業

時間や資金の不足による専門知識の習得しにくさを解決するため、事業所に勤務する職員を対象として、各種研修を実施し、多様な障害特性や生活状況に対応できるよう支援する。

（2）情報支援事業

従事者が手軽にアクセスし障害福祉サービスに関する必要な情報をいつでも簡単に得られるように「わかりやすい」「見つけやすい」「便利」な専用ホームページを開設する。

（3）連携支援事業

事業所同士の学びあいや交流を通して相談しあえる環境を創出するために、センターが核となって事業所同士の連携と協働を促進する。

【問い合わせ】健康福祉事業本部福祉部障害者サービス調整担当課障害者給付係 電話 03-5984-1021